

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 広島大学附属東雲小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）
所在地 〒734-0022
広島市南区東雲三丁目1番33号
E-mail eleshino@hiroshima-u.ac.jp
Website <http://home.hiroshima-u.ac.jp/eleshino>
児童生徒数 男子229名 女子224名 合計453名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

広島大学附属東雲小学校では、各学年段階において、自然環境とのかかわりを体験的、系統的、協働的に深める活動を実施した。また、発表会に向けての学年での取り組みや縦割り集団による異学年交流などにおいて、平和や人権について考察する活動を実施した。

1・2年：「元宇品探検」

元宇品探検では、生活科を中核として合科・関連的な学習を構成し、広島湾の元宇品付近の海に棲む生き物について、事前に本などで調べたり、実際に現地へ行って生き物探しをしたり、生き物を絵と文で記録したりした。多様な生き物が生きていることを知るとともに、交流を通して異なるものの見方、考え方があることを知ることができ、海辺の自然環境を仲間と共に親しむことができた。

3年：「三滝宿泊学習」

初めての宿泊体験である三滝宿泊学習では、家庭を離れ、見通しをもって行動することにより、精神的・身辺的自立を図ることができた。また、集団で行動することにより、仲間と協力することや自分の役割を果たすことの大切さに気づくことができた。更に、広島市の三滝少年自然の家周辺の自然の中で活動することにより、身近な自然環境に目を向け、関心を高めることができた。

3・4年：「太田川探検」

太田川探検では、1・2年時の「元宇品探検」の学習を基に、広島湾に注ぎ込む太田川の上流域に棲む生き物について、観察や採集を行い、川に棲む生き物について理解を深めることができた。また、魚釣りや自作の筏での川下りなどの体験を通して、川辺の自然環境に親しむとともに、自然を大切にす気持ちをもつことができた。

4年：「海の学習」

海の学習では、広島県呉市蒲刈町の県民の浜において、地引き網体験、タコ漁体験、カッター操船体験などの活動を通して、自然の良さや美しさに触れるとともに、海の生き物の生態や、瀬戸内海の自然環境や生活文化について学習することができた。また、仲間と協力して活動することを通して、お互いの事情や考えの違いを理解しながら活動することで、仲間との関わりを深めることができた。

5年：「山の学習」

山の学習では、広島県廿日市市吉和の広島県立もみの木森林公園において、3・4年時の「太田川探検」の学習を基に、1200m級の山に登ったり、沢登りをしたりすることで、太田川源流域の自然環境について理解を深めることができた。また、飯盒炊飯やテント宿泊などの活動を通して、お互いの事情や考えの違いを理解しながら、仲間と協力して困難を乗り越えることを体験できた。

6年：「旅の学習」

旅の学習では、沖縄本島北部の伊江島において、大自然の中で暮らす島の人々との触れ合いを通して、沖縄の自然や文化、琉球の歴史に触れることができた。また、ひめゆり平和記念資料館や糸数アブチラガマを見学したり、語り部の人たちから戦争体験を聞いたりすることで、住民を巻き込んだ激しい地上戦が行われた沖縄戦の歴史を肌で感じるとともに、これまで広島で学んできた平和学習と繋げ、生命の大切さや平和の尊さを考える機会となった。

全学年：「縦割り活動」

1年生から6年生までの全ての学年の児童を36の縦割り班に分け、毎日の掃除やお迎え遠足、縦割り弁当などの活動を行った。6年生がリーダーとなり、異なる学年の児童と一緒に遊べることを考えたり、学年に応じた役割を考えて与えたりすることで、班に所属する個々の事情や考えの違いに配慮しながら、全員が力を合わせて班としてのまとまりを創りだしていくことができた。

(2) 活動時間について

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）